

適正と考えられる車両数の算定について【神戸市域交通圏】

○需要量の算定

次式により推定。

$$\begin{aligned} & \text{需要量} \\ & = \text{平成20年度の実績年度の総実車キロ} \times \text{20年度の総実車キロの対前年度比} \end{aligned}$$

○適正と考えられる車両数の算定

次式により行う。

$$\begin{aligned} & \text{適正と考えられる車両数} \\ & = \text{需要量} \div (\text{過去5年間の平均総走行キロ} \times \text{平成13年度の実車率} \div \text{過去5年間の平均延実働車両数}) \\ & \quad \div 365 \div \text{実働率} (\ast) \end{aligned}$$

※実働率については、「90%」、「平成13年度実績値（83.27%）」及び「80%」を適用してそれぞれ算出

- | | |
|------------------------|--------------|
| ①実働率「90%」を適用した場合 | 算定結果 約4,670両 |
| ②実働率「平成13年度実績値」を適用した場合 | 算定結果 約5,063両 |
| ③実働率「80%」を適用した場合 | 算定結果 約5,253両 |

〈参 考〉

平成20年7月11日現在の車両数（基準車両数）・・・6,176両
平成21年9月末現在の車両数・・・6,229両

適正と考えられる車両数の算定について【姫路・西播磨交通圏】

○需要量の算定

次式により推定。

需要量

$$= \text{平成20年度の実績年度の総実車キロ} \times \text{20年度の総実車キロの対前年度比}$$

○適正と考えられる車両数の算定

次式により行う。

適正と考えられる車両数

$$= \text{需要量} \div (\text{過去5年間の平均総走行キロ} \times \text{平成13年度の実車率} \div \text{過去5年間の平均延実働車両数}) \\ \div 365 \div \text{実働率} (\ast)$$

※実働率については、「90%」、「平成13年度実績値（75.51%）」及び「80%」を適用してそれぞれ算出

①実働率「90%」を適用した場合	算定結果 約721両
②実働率「平成13年度実績値」を適用した場合	算定結果 約854両
③実働率「80%」を適用した場合	算定結果 約811両

〈参 考〉

平成20年7月11日現在の車両数（基準車両数） 976両

平成21年9月末現在の車両数 979両

適正と考えられる車両数の算定について【東播磨交通圏】

○需要量の算定

次式により推定。

需要量

＝平成20年度の実績年度の総実車キロ×20年度の総実車キロの対前年度比

○適正と考えられる車両数の算定

次式により行う。

適正と考えられる車両数

＝需要量÷（過去5年間の平均総走行キロ×平成13年度の実車率÷過去5年間の平均延実働車両数）
÷365÷実働率（※）

※実働率については、「90%」、「平成13年度実績値（78.78%）」及び「80%」を適用してそれぞれ算出

①実働率「90%」を適用した場合	算定結果	約476両
②実働率「平成13年度実績値」を適用した場合	算定結果	約543両
③実働率「80%」を適用した場合	算定結果	約536両

〈参 考〉

平成21年7月17日現在の車両数（基準車両数）・・・684両

平成21年9月末現在の車両数・・・712両